

議事概要

※第 271 回長期評価部会（令和 6 年 7 月 30 日（火）開催）の議事概要より、「日本海側の海域活断層の長期評価 一兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖一（令和 6 年 8 月版）」に関する部分を抜粋。

出席者

部会長	佐竹 健治	国立大学法人東京大学名誉教授
委員	飯沼 卓史	国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター 地震予測研究グループグループリーダー
	伊藤 弘志	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	岡村 行信	国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター活断層・火山研究部門 名誉リサーチャー
	奥村 晃史	国立大学法人広島大学名誉教授
	汐見 勝彦	国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門副部門長
	鈴木 康弘	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター教授
	堤 浩之	同志社大学理工学部環境システム学科教授
	藤原 広行	国立研究開発法人防災科学技術研究所研究主監 マルチハザードリスク評価研究部門長兼務 先進防災技術連携研究センター長兼務
	宮澤 理稔	国立大学法人京都大学防災研究所教授
	山崎 晴雄	首都大学東京（現 東京都立大学）名誉教授
	矢来 博司	国土地理院地理地殻活動研究センター長
	吉田 康宏	気象庁気象研究所地震津波研究部第二研究室主任研究官
委員長	平田 直	国立大学法人東京大学名誉教授
事務局	上野 寛	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官
	吉田 健一	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室調査官
	清水 淳平	気象庁地震火山部地震火山技術・調査課調査官
	越智 久巳一	国土地理院測地観測センター地震調査官
	都筑 三千夫	国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官
	上野（貴）	（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室） （公益財団法人地震予知総合研究振興会※）

※委託事業「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」の受託者

ー日本海側の海域活断層の長期評価についてー

佐竹部会長：日本海側の海域活断層の長期評価について、事務局から説明をお願いします。

事務局（吉田）：（参考資料7に基づき説明）

佐竹部会長：今回の能登半島地震のところは、記者レクなどでも質問が多く出るのではないかと。部分的に同時に活動する可能性を否定できないという文章だが、要するに連動ではないということである。例えば、今回の能登半島地震は、⑩能登半島北岸断層帯がメインにすべり、⑭門前断層帯と⑳富山トラフ西縁断層については一部が動いたが、連動して全てが同時に動いた訳ではないという解釈である。参考資料7-1、7-2、7-3は8月2日に報道解禁であり、それまで取り扱いには注意して欲しい。一方で、明日（7月31日）には記者レクを行うため、記者から委員に問い合わせやコメント等の依頼が来る可能性は十分にある。その場合は対応していただいて構わない。内容も含め質問あるいは意見等あるか。

事務局（上野寛）：補足すると、8月2日午前中に予定されている大臣会見で、地震調査研究推進本部長である文部科学大臣から海域活断層の長期評価に関する説明を行い、それを受けて解禁となる。そのため、おそらく午前11時ぐらいだが具体的な解禁時間はまだ決まっていない。解禁になった時点でホームページに資料を掲載し、メーリングリストで連絡する。

佐竹部会長：委員長もよろしいか。

平田委員長：事務局からの説明にあった通りで、分かりにくいがそういった（連動ではない）方針で説明する。一部が同時にというのは連動ではないということであり、例えばマスコミから質問があれば、委員の方にはそのようにコメントして欲しい。

佐竹部会長：他に意見がなければ良いか。7月31日（水）が記者レクで8月2日（金）に解禁である。

（意見なし）

以 上